

宮崎・東諸県エリア部会

【合同研修会報告】

宮崎・東諸県エリア部会では、宮崎市学校教育研究会小中学校特別支援教育部会及び宮崎県情緒障がい教育研究部会と合同で、7月28日(月)に佐土原総合文化ホールにて研修会を実施しました。今年度は、「教育的ニーズに応える特別支援教育の在り方」をテーマに、綾小学校の大西教諭が「はじめての自由進度学習～特別支援教育の視点



からのアプローチ～」と題し、実践発表を行いました。「自由進度学習」については、イメージが湧かない方や実践しようと思っても具体的な実践事例が少なく、踏み出すことに躊躇する方も多くいました。しかし、今回の研修では自由進度学習において教材準備や授業の進め方について写真や動画を用いて発表をしていただき、子どもたちの学習している様子がとても分かりやすく、通常学級と特別支援学級の児童が共に自由進度学習に生き生きと参加している姿がありました。また授業作りにおいても、「準備」、「計画」、「ブラッシュアップ」が大切だという言葉が印象的でした。その他にもワークシートや一人学びの教具などの紹介がありとても参考になりました。

参加者からの意見や感想では、「具体的な自由進度学習の進め方が分かった。特別支援学級の児童にとっては難易度が高く、意欲の継続面からも参加が難しいと考えていたが、大西先生の実践は興味深く、工夫次第で特別支援学級の児童にも取り組みやすいかもしれないと感じた」や「今回、特別支援教育の視点から自由進度学習を再度考えてみて、子どもたちのできた！わかった！という満足感に繋がる学習なのではないかと改めて感じた。今年度も2年生が学級にいるので試したいと思った。」、「自由進度学習については何度か話を聞いていたが、特別支援教育の視点と絡めた新しい見方が生まれることに気付きました。また、特別支援学級と通常学級で必要な支援は異なりますが、子どもたちの笑顔や学び、出来た！の実感には何も違いはないと改めて感じました。教材・教具、授業準備における課題や努力は多々必要ではあるが、ぜひやってみたいと感じる実践でした。」などの感想をいただいた。また、事後アンケートからも、「参考になった。」、「やってみたい。」など多くの前向きな意見が寄せられ、とても有意義な研修会になりました。